

経済学委員会数量的経済・政策分析分科会（第26期・第2回）

議 事 要 旨

1. 会議名 経済学委員会数量的経済・政策分析分科会（第26期・第2回）
2. 日 時 令和6年5月25日（土）14時00分～15時00分
3. 会 場 東京経済大学2号館2階B202教室及びオンライン会議システム併用のハイブリッド開催
4. 出席者 臼井 恵美子、岩城 秀樹、宇南山 卓、大森 裕浩、北尾 早霧、川崎 能典、小原 美紀、塩路 悦朗、高槻 泰郎、豊田 哲也、中村 さやか、西山 慶彦、福重 元嗣、山下 智志（14名）＋陪席者：石井 利江子
5. 議 題：
 - 1) 分科会メンバーの追加について
 - 2) 第26期の活動について
 - 3) チュートリアルセッションの開催について
 - 4) その他

議事録

1) 分科会メンバーの追加について

滋賀大学経済学部教授の石井利江子氏を当分科会メンバーに追加することについて合意が得られた。

2) 第26期の活動について

財務総合政策研究所、RIETI、こども家庭庁などに所属している方等から、政策ニーズを聞き出すための企画を2025年度中に開催し、その内容をもとに分科会として提言を出す、という方向性が共有された。企画の実施形態は、シンポジウム、ワークショップ、ないし分科会メンバーによるヒアリングなどの選択肢があるため、聞き取り対象の候補者も含め、継続的に検討していくことが確認された。

3) チュートリアルセッションの開催について

日本経済学会 2024 年秋季大会において、本分科会が提案したチュートリアルセッションとして「消費分析の進め方」（報告者：宇南山卓氏）が企画セッションとして採択されたことが報告された。また、この次のチュートリアルセッションについては、2025 年春季大会（2025 年 5 月）に開催すべく、テーマや候補者について議論を行った。その結果、その結果、Continuous time modeling、因果推論、マッチング理論の社会実装などについて講演者を選定することが確認された。

4) その他

特になし。